



チューリップ

四季だより

写真撮影 幡谷 広司

じゅあつわい

砺波市長 岡部昇栄

チューリップは、子供から大人まで世界中の人々に親しまれています。春になると全国各地の花壇や公園はチューリップで彩られます。砺波市では特産品であるこの花を一年中観賞することができ、更にはチューリップに関する情報発信の拠点として今年四月にチューリップ四季彩館を開館いたしました。

砺波市はチューリップの世界的な産地であるオランダ・リッセ市やチューリップ文化の栄える国トルコ・ヤロバ市とは以前から姉妹都市交流を行っておりますが、北米のカナダでも長年にわたり「カナデアアン チューリップ フェスティバル」が毎年首都オタワ市周辺で開催されています。特に来年の「フェスティバルではジャパンウィークの中に「砺波の白」が設定される計画と聞いております。チューリップを掛け橋として交流を一層活発なものにしていきたいと考えております。

この度、当チューリップ四季彩館では様々なチューリップについての情報を内外に広く発信するため、情報誌「チューリップ四季だより」を創刊いたしました。本誌によってチューリップがより一層身近なものとなり、多くの方々に砺波のチューリップに親しんでいただければと願っております。

平成八年十月

(題字 岡部昇栄)

1996
創刊号

随筆



「妍を競う」 堀田 良 画

映画をたずさえて

走行一七〇〇キロ

農学博士 堀田 良

わたしがはじめて仕事でチューリップに関るようになったのは、一九七二年（昭和四七）である。富山県庁で園芸特産課に勤務するようになり、米の生産調整をきっかけに野菜・果樹や花きの生産を伸ばそうとしていた時期だった。

当時の県産チューリップの球根はほとんど輸出に仕向けられ、国内では富山産の球根が輸出を一手に引き受けていた。輸出先はアメリカで、オランダとの競争に心を砕いていた。その一方で新たな市場を開拓しようとして、花卉球根農協と相談して南米のブラジル・アルゼンチンに球根を送り、翌七三年（昭和四八）から、カノコユリとあわせ邦人移住者に試作を依頼した。初年度はチューリップ六品種、八五〇〇球、カノコユリ一品種六〇〇球であった。邦人移住者の間にもチューリップの試作希望が出ていたのである。初めての試作結果は芯止り現象や未開花、球根腐敗などが多出し、不成功だった。試作者の選定や結果報告は

現地にいる海外移住事業団（いまの国際協力事業団）に頼んだが、地球の裏側からの情報は時間がかかるだけで詳細な内容がつかめなかった。そこで翌七四年（昭和四九）現地に足を運び、実際を見聞する必要があるとして私が単身で赴くことになったのである。

せっかく地球の裏側まで出かけるのなら、県産のチューリップをPRする映画を作ろうと一六ミリ、三〇分ものの制作にとりかかった。題して「富山のチューリップ」。制作費は五〇〇万円。フィルムは三本。そのうちの一本をトランクの底に忍ばせて十月九日羽田空港を飛び立ち、バリーグ・ブラジル航空の機上の人となった。映画フィルムをトランクに忍ばせるのは訳がある。当時のブラジルはガイズル大統領（ドイツ系）の統治する統制色の強い国で、映画フィルムの持込みは禁止されていた。したがって税関で取りあげられるおそれがあると聞いて、中田知事のサイン入りの証明書を持参した。しかしこれとて頼りになる保証がなく、（英語で記載。しかも一方の知事の証明など、外交ルートでなければ全く心もとない）イチかバチか当たって砕けろという気

持ちだった。リオ空港で射るような目つきをした税関吏にビクつきながら、持前のポーカーフェイスでなんとかパス。一夜漬けで覚えたポルトガル語で二週間の活動を開始した。幸い事業団の世話になり、またリング栽培指導の専門家として駐在していた後沢氏（元長野県園芸試験場長）の助けを得て、六か所で映画を披露しながら花き栽培の邦人農家を巡回訪問し、懇談することができた。当時のブラジルの花き生産状況はキク、バラ、グラジオラス、カーネーションを「四大花き」と称し、生産の七割は邦人の手によって占められていた。チューリップをはじめ、カノコユリ、スイセンなどの球根植物はまったく手がけられておらず、日本からの導入が望まれていた。アルゼンチンにはオランダからチューリップが導入されはじめ、そこからブラジル国内のオランダ系移住地に入っているようで、移住地はそれぞれ出身国別に成立っているため、植民地に見られるナシヨナリズムを垣間見る感があった。



ブラジル 邦人のキク栽培（1974年10月）

問題点を中間報告したが、「富山産の球根の販路を拡張するためにブラジルやアルゼンチンを対象にするのは考えものだ。それよりも邦人の農家の経営に役立つよう試作を指導し、援助すべきではないか。」とアドバイスを受けた。この提言はズシンと胸にこたえ、わがさもしい商売根性を大いに恥じたことである。

試作が失敗した最大の原因は、サントス港の荷揚げがスムーズにいかず、最少限二週間は滞貨させられるためと分った。蒸し暑いこの港は冷蔵設備が不備であること、輸送システムに問題があること等



ブラジルでテッポウユリなど花き栽培の邦人（1974年10月）

《略歴》



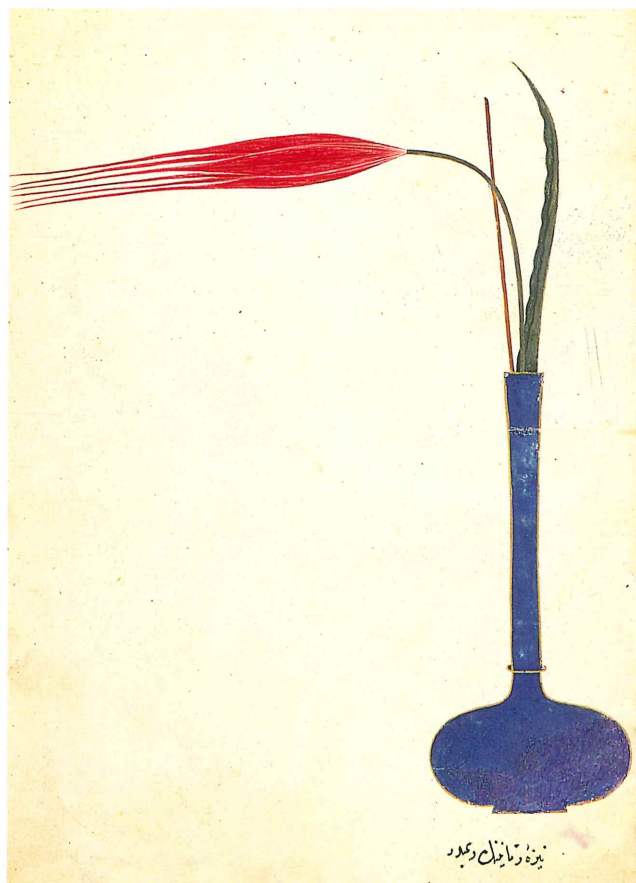
ほりた りょう

元富山県農業試験場長。元富山県立技術短期大学教授。現富山県チューリップ優良品種認定審査委員。現とやまの食を考える懇話会代表。過去に数回墨彩画の個展を開催

ドル高の一ドル二八〇円だったと日誌に記してある。

試作用球根は七七年（昭和五二）まで五年間送ったが、末期には情報途絶えたままになってしまった。元気でいるうちにもう一度行き、自分の足で調べてみたい思いに駆られている。

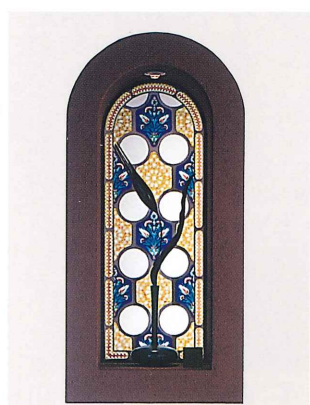
イスタンブール・チューリップ



ローマ人の槍

イスタンブール・チューリップとは？

チューリップ四季彩館のミュージアムに入るとすぐ正面に見慣れない形のチューリップのブロンズ像があります。アーモンド形の花、花びらは短剣形でその先端は細長くとがりキリのようなです。一見チューリップらしくないこのチューリップは、トルコ共和国のイスタンブールでチューリップ野性種の選抜・交配によっ



イスタンブールチューリップのブロンズ像

て作られたもので、一六世紀から一八世紀にかけ、この地においてのみ栽培されたことから「イスタンブール・チューリップ」と名付けられました。



T.シュレンキー



T.アクミナータ

イスタンブール・チューリップはどのような花に似てきたのだろうか？

イスタンブール・チューリップと名付けられた園芸種がどの野性種からどのような花に似てきたかという点とは不明です。先がとがっているこ

した。

一六世紀の初め、エブススウド・エフエンディ（一四九〇～一五七三）はイスタンブールで初めてチューリップの品種改良に成功し、その花を「ヌーリ・アドウン（天国の光）」と名付けました。以後一六世紀から一七世紀にかけておよそ二〇〇種類のチューリップがその地で栽培されたのです。

とからクリミア半島原産のツリパ・シュレンキー・リーグル種から得られたという説があります。一方、外形が似ているチューリップで唯一のものはアクミナータ・ヴァフル種です。これは今も栽培されています。アクミナータとシュレンキーのどちらにも類似点がいくつか見られるものの、真相はわかりません。

チューリップ時代と

公定価格

チューリップはオスマン帝国時代、特に一六世紀から一八世紀にかけて鑑賞用植物として、また装飾用モチーフとして大変重要なものでした。特に一七世紀後半からは、チューリップに対する関心が異常に高まり、多くの人がチューリップ球根の入手に熱中し始め、珍しい球根の値段がどんどんつりあがりました。これを防ぐため、一七二五年チューリップの球根の価格を定めるリスト（公定価格表）が作られ、その価格以上の売買が禁止されます。その後の一七二七年のリストによると、記載された三〇六種のうち一番高い「ローマ人の槍」の球根が二〇〇クルシユでした。

スルタン・メフメト三世時代末期のチューリップへの関心が最高潮に達した一七一八年から一七三〇年までを特に「チューリップ時代」と呼んでいます。

草花審査会

一七世紀に入り何千種ものチューリップやスイセンが栽培されるよう

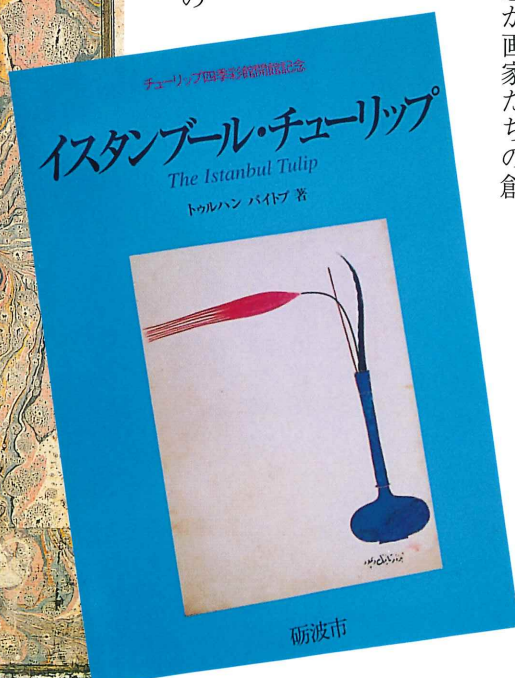


園芸愛好家たちによる新品種の品評会の様子（想像図）

たとしても数種だけです。その中で一七二五年に書かれたといわれている「チューリップ誌」には約五〇種のイスタンブール・チューリップの着色図が掲載されていました。今や世界で一冊しかないこの「チューリップ誌」の中の四九種の図を掲載したトルコ語の複製本「イスタンブール・チューリップ」がトゥルハン・バイトプ氏の手によって一九九二年に出版されました

ツプの重要性が減少したことなどの理由から、一八世紀中期以降完全に姿を消してしまいました。しかし、「チューリップ誌」の図版によって、オスマン帝国時代のタイルや細密画などに見られるチューリップの形態が画家たちの創作ではなくイスタンブール・チューリップ種の写実的な形であることがわかります。トルコ人の

草花栽培技術は一八世紀初頭にはすでにここまで高度だったのです。（「イスタンブール・チューリップ」 砺波市へ平成8年4月発行より）



トゥルハン・バイトプ著
「イスタンブール・チューリップ」
の復刻版

チューリップ誌

になると、チューリップに関する疑問点が生じ始めます。そのため、専門家たちで構成された様々な委員会が設けられるようになりました。チューリップの新しい品種ができると「宮廷草花栽培係の長が議長を務める専門家会議（草花審査会）」で審査され、非の打ち所がない完全なものと認められてから初めて命名され、そのチューリップの名称とともに、特徴や球根の所有者が記録されていたのでした。

イスタンブール・チューリップ種の特徴や名称、栽培家を記した本はあっても、形態を描いた図を掲載したものはほとんどなく、描かれてい

イスタンブール・チューリップの消滅

一時期は約二〇〇〇種にまで達したイスタンブール・チューリップの種類もこれらのチューリップが僅かしか入手できなかったこと、時代とともにチューリ



花束

カナディアン チューリップ フェスティバル

カナディアン チューリップ フェスティバルについて

カナダの首都オタワでは一九五一年から「カナディアン チューリップ フェスティバル」が開催され、今年で四六回を数えますが、これは砺波のチューリップフェアとは同じ頃に始められたことになります。このフェスティバルは長い冬が過ぎ、春の到来を祝う祭りです。冬は零下四〇度にもなる厳冬の国であるためチューリップを「再生の花」としています。

今年五月、砺波市長がそのフェスティバルに招かれ、歓迎をうけました。来年の「カナディアン チュー



リップ フェスティバル」では期間中に「砺波の日」が設定されることになり、そこで砺波市を紹介する予定です。

内容は、チューリップの歴史や砺波のチューリップについてのパネル展示、砺波地方の芸能、花の展示等です。

なぜカナダでチューリップ?

第二次世界大戦でオランダが侵攻されたとき、オランダの国王一家はカナダ・オタワに避難しました。オタワ滞在中に、王女ユリアナ(後の女王)はマグリエットという名の娘を出産します。カナダ政府は一時その病院の分娩室をオランダ国王の領

土であると発表しました。このはからにより、マグリエットはオランダの国籍をもつことができたのでした。一九四五年、大戦が終わり、王女ユリアナと家族はオランダに戻りました。その年、オランダ国民は第二次世界大戦時のオランダ王国解放の際、カナダ政府への感謝のしるしとして一〇万球のチューリップの球根を贈ったのでした。

翌一九四六年、王女ユリアナは彼女個人からの贈り物としてオタワに二万球の球根を贈りました。その贈り物はその後ほぼ生涯続き、カナダの首都オタワでは毎年オランダ王室から球根を受け取っています。一九五一年には栽培される球根は二〇万球を超え、オタワは「チューリップの首都」となったのでした。同年、第一回目の「カナディアン チューリップ フェスティバル」が開催されました。今日、その地域一帯では三〇〇万本以上のチューリップの花が咲き誇ります。「連邦首都委員会」が首都周辺の公共地域のチューリップ花壇のデザインから植栽、世話までを担当しており、一方、「カナディアン チューリップ フェスティバル協会」が毎年五月の祭典を運営しています。

■統計に見るチューリップの栽培・生産状況

・栽培面積 平成6年度

単位：ヘクタール

	オランダ	日 本	富 山 県
チューリップ	8,530	539	244
球 根 全 体	18,385	1,280	272

・生産量 平成6年度

単位：球

	オランダ	日 本	富 山 県
チューリップ	26億8500万 [※]	1億2040万	5540万
球 根 全 体	90億	3億9070万	6005万

※平成4年度データ

・オランダ（平成7年度）

世界市場におけるオランダの占める割合 65%
オランダ球根は国内向け25%、輸出向け75%の割合で販売されています。

球根輸出額と輸出先ベスト5（単位100万ギルダー）

1. アメリカ	210（約138億円）
2. ドイツ	186（約123億円）
3. 日 本	177（約117億円）
4. イタリア	133（約 88億円）
5. フランス	119（約 79億円）
総輸出額	1,275（約842億円）

・富 山 県（平成7年度）

球根生産者 2,159人

品種別出荷球数ベスト5

1. 黄小町	461万球
2. 白雪姫	270万球
3. ベンバンザンテン	230万球
4. ゴールデンエンパイヤステート	194万球
5. 紫水晶	173万球

※引用資料

オランダ国際球根センター、富山県花卉球根農業協同組合、富山県農業技術センター野菜花き試験場、'96フラワーデータブック

チューリップの乾燥冷凍球根の抑制開花

チューリップの乾燥冷凍球根の水耕による抑制開花（五月中旬～十一月中旬開花）

現在、チューリップ四季彩館では二つの方法でチューリップを抑制開花させています。一つは前年の十二月に球根を箱植えし、約一ヶ月間屋外で十分発根させた後、マイナス二度の冷凍庫に貯蔵したものを、開花予定日から二～三週間前に順次冷凍庫から出して解凍開花させたもの。もう一つは過去に富山県農業試験場野菜・花き試験場で一応成果を得た冷凍球根の水耕栽培を参考に、当館が乾燥冷凍球根を左記の方法で開花させたものです。今のところ主体は前者にあります。後者の方法が確立すれば冷凍から開花までの作業量も少なく、冷凍スペースも大幅に節約できます。

＜栽培方法＞

一月中旬よりマイナス二度で球根の乾燥冷凍を開始

冷凍庫から球根を取り出し
五度で二日間解凍

十五度の暗黒下で水耕栽培開始

根が三～五cmになり次第室内に移す
（適温は十五～十七度）

約二週間で開花

乾燥冷凍に用いた品種

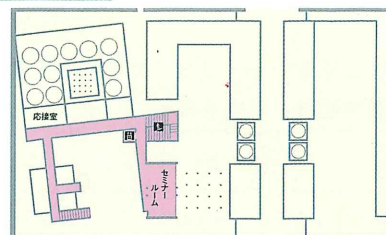
品 種 名	系 統	花 色
イルドフランス	一重晩咲き系	深 紅 色
ベンバンザンテン	トラリアンフ系	赤 色
パウルリヒター	トラリアンフ系	濃 赤 色
ハッピーファミリー	トラリアンフ系	桃 色
ファンシーフリルス	フリンジ咲き系	白地に桃色覆輪
ピ ュ ー リ シ マ	フォステリアナ系	白 色



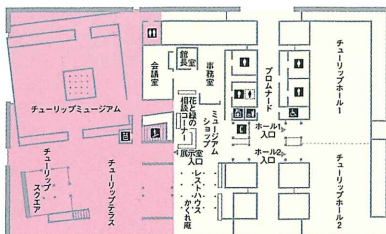
チューリップ四季彩館概要



館内平面図



(2階)



(1階)

チューリップ 四季彩館	2,921㎡	(1階)
		チューリップホール1 247㎡
		チューリップホール2 210㎡
		チューリップミュージアム 435㎡
		チューリップテラス 349㎡
		チューリップスクエア 58㎡
		ミュージアムショップ 71㎡
		カフェ 130㎡
		館長室 13㎡
		事務室(相談コーナー) 82㎡
		会議室 48㎡
		プロムナード 178㎡
		(2階)
		セミナールーム 46㎡
		応接室 27㎡
作業棟	268㎡	
温室(3棟)	396㎡	
公衆便所	48㎡	
ポンプ室	22㎡	
屋外付帯施設	展示園場、芝生広場、駐車場	

敷地面積 27,512㎡

建設費 2,350百万円(平成6年度～8年度継続事業)

建設経過

- H元. 12月 第6次砺波市総合計画基本構想議決 博物館構想
H4. 12 「チューリッププラザ(仮称)基本構想策定委員」編成会議
H5. 4 第1回チューリッププラザ(仮称)基本構想策定委員会
6 第2回チューリッププラザ(仮称)基本構想策定委員会
9 プロポーザルコンペの提案内容のヒヤリング及び審査会
10 審査結果に基づき、基本計画策定業者を決定
H6. 1 第3回チューリッププラザ(仮称)基本構想策定委員会
2 第4回チューリッププラザ(仮称)基本構想策定委員会
3 チューリッププラザ(仮称)基本計画決定
〃 平成6年度から3か年継続事業として建設費を予算計上
4 チューリッププラザ建設班設置
8 建築、修景、展示実施設計の発注
11 建築、修景工事の起工式
11-12 トルコ共和国へ海外調査
H7. 2 名称を「チューリップ四季彩館」とする。
3 (財)砺波市花と緑の財団設立
(チューリップ四季彩館の管理)
4-5 オランダ王国へ海外調査
7 展示工事の発注
9 チューリップ四季彩館条例制定
H8. 4 チューリップ四季彩館設置
〃 竣工式

特別企画展

名称 期間 場所

- 秋の夜の星座たちのつとめ 11月22日～12月1日 チューリップホール
春を呼ぶ 2月22日～3月2日 〃
チューリップ展

その他、小企画展(毎月)や各種教室も開催しています。

チューリップ四季彩館 からのお知らせ

チューリップ四季彩館
TONAMI TULIP
GALLERY
(財)砺波市花と緑の財団
〒939-1123
富山県砺波市中村一〇〇一
☎ 〇七六三三三三三七七六
FAX 〇七六三三三三三〇〇九〇

一年中チューリップの花が見られ、チューリップの歴史や文化などチューリップに関する情報が得られる施設として、平成八年四月二〇日にオープンしました。
砺波チューリップ公園の東側に建設されたチューリップ四季彩館は、大きなガラス屋根のアトリウムの中に、赤土色のイスラム調の街並みを配置したユニークな建物です。そこには、チューリップのことが学べるミュージアム、季節の花が咲き誇るテラス、そして年中チューリップが咲いているスクエアがあります。また、フラワースhowerをはじめ各種イベントに利用できるホール、フラワールームの小さな展示会などができるセミナールームの他、ミュージアムショップやカフェなどもあります。

チューリップ
四季彩館